

平成27年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和崎 信哉

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長

(氏名) 尾上 純一

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	53,672	2.3	8,283	29.5	8,755	30.8	5,665	36.0
26年3月期第3四半期	52,442	△0.1	6,395	35.2	6,693	32.8	4,166	33.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 5,999百万円 (27.6%) 26年3月期第3四半期 4,700百万円 (41.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	419.78	—
26年3月期第3四半期	289.43	—

(注) 当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首(平成26年3月期)に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
27年3月期第3四半期	60,519		39,392		65.1	
26年3月期	52,797		34,203		64.8	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 39,392百万円 26年3月期 34,203百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,300	2.9	8,500	18.3	9,000	19.3	5,700	19.6	422.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	14,422,200 株	26年3月期	14,422,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	926,492 株	26年3月期	926,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	13,495,758 株	26年3月期3Q	14,395,250 株

(注) 当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首(平成26年3月期)に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成27年1月30日(金)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 販売の状況 .....	9
(2) 四半期個別業績情報(参考) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策等により企業収益が徐々に改善され、景気は穏やかな回復基調にありましたが、急激な円安による物価上昇や消費税増税の消費活動への影響等、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

放送業界におきましては、広告市況は回復基調にあり、有料放送市場は、デジタルテレビの普及、BSデジタル放送の多チャンネル化による好影響を経た後、堅調に推移しております。

このような環境下、当第3四半期連結累計期間における収支の状況は、累計正味加入件数の増加に伴い有料放送収入が前年同期に比べ増加したこと等により、売上高は536億72百万円と前年同期に比べ12億30百万円(2.3%)の増収となりました。有料放送収入の増加に伴い販売諸費用も増加しましたが、コンテンツの効率的な投下により番組費が減少したこと等により、営業利益は82億83百万円と前年同期に比べ18億87百万円(29.5%)の増益、経常利益は87億55百万円と前年同期に比べ20億61百万円(30.8%)の増益、四半期純利益は56億65百万円と前年同期に比べ14億98百万円(36.0%)の増益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次のとおりです。

<放送>

当第3四半期連結累計期間におきましては、「WOWOWプライム」に訴求力のあるコンテンツを集結し、ショーウィンドウとしての機能を強化したほか、「WOWOWライブ」、「WOWOWシネマ」には専門性の高いコンテンツを編成する等チャンネルの編成改革を行いました。

ドラマでは、「連続ドラマW MOZU Season 2～幻の翼～」、「連続ドラマW 株価暴落」等のオリジナルドラマが加入獲得を牽引しました。

音楽では、「生中継! サザンオールスターズ年越しライブ2014」、氷室京介のソロデビュー25周年ツアー等のライブが、スポーツでは、錦織圭選手が日本人として初めて決勝に進出した「全米オープンテニス」、「スペインサッカーリーグ・エスパニョーラ」が加入獲得に貢献しました。

映画では、「清須会議」等の三谷幸喜映画一挙放送、年末年始洋画スペシャル等が好評を得ました。

映画製作では、第67回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品したWOWOW FILMS「2つ目の窓」を、劇場公開に先駆け6月1日に一夜限りのプレミア放送を行いました。

また、会員限定無料番組配信サービスである「WOWOWメンバーズオンデマンド」の強化のほか、お客さまとWOWOWとの結びつきをさらに深めるため、「WOWOWポイント」を4月から本格始動し、番組を見るだけでなくWOWOWを体験していただけるイベントとして「TOUCH! WOWOW2014」を9月から11月にわたり開催しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は516億38百万円と前年同期に比べ11億43百万円(2.3%)の増収、セグメント利益は81億35百万円と前年同期に比べ18億65百万円(29.7%)の増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表のとおりとなりました。複数契約(注)は、当第3四半期末時点において409,285件(前年同期末に比べ28,002件の増加)となっております。

(注) 当社は同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,484円(税込み)の視聴料金を972円(税込み)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
加入及び解約件数 (対前年同期増減率)	538,575 (51.9%)	411,844 (17.7%)	126,731 (2,535.3%)	2,775,175 (5.3%)

<テレマーケティング>

連結子会社の㈱WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営を行っております。当第3四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は、データ分析やSNSを活用したサービス等高付加価値サービスの展開による既存顧客からの受注増やセグメント間売上の増加等により46億80百万円と前年同期に比べ2億1百万円(4.5%)の増収となりました。これにより、セグメント利益は、1億51百万円と前年同期に比べ26百万円(20.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は605億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億21百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金及び番組勘定が増加したことによるものです。

(負債)

負債は211億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億32百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債で買掛金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は393億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ51億88百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント上昇し、65.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26(2014)年10月30日に公表した連結業績予想の修正は行っておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第3四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店等に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成26年3月期決算短信(平成26年5月15日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ(IR資料室))

[http://www.wowow.co.jp/co\\_info/ir/ref/](http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/)

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,883	15,912
売掛金	3,795	4,354
番組勘定	11,908	14,058
貯蔵品	61	65
繰延税金資産	864	922
その他	1,763	2,414
貸倒引当金	△183	△178
流動資産合計	30,092	37,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,379	2,416
機械及び装置（純額）	4,364	3,979
工具、器具及び備品（純額）	842	732
その他（純額）	297	548
有形固定資産合計	7,884	7,676
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	1,475	1,505
無形固定資産合計	6,486	6,517
投資その他の資産		
投資有価証券	7,114	7,375
繰延税金資産	40	37
その他	1,279	1,456
貸倒引当金	△99	△92
投資その他の資産合計	8,334	8,776
固定資産合計	22,704	22,970
資産合計	52,797	60,519

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,123	12,489
未払法人税等	1,590	1,835
賞与引当金	59	29
その他	5,233	5,009
流動負債合計	17,006	19,364
固定負債		
退職給付に係る負債	1,450	1,448
その他	136	314
固定負債合計	1,587	1,762
負債合計	18,593	21,126
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	28,842	33,698
自己株式	△3,080	△3,080
株主資本合計	33,500	38,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421	487
繰延ヘッジ損益	281	549
その他の包括利益累計額合計	702	1,036
純資産合計	34,203	39,392
負債純資産合計	52,797	60,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	52,442	53,672
売上原価	26,935	26,282
売上総利益	25,507	27,390
販売費及び一般管理費	19,111	19,106
営業利益	6,395	8,283
営業外収益		
受取利息	2	2
持分法による投資利益	278	287
為替差益	—	128
その他	68	56
営業外収益合計	349	474
営業外費用		
支払利息	6	—
為替差損	37	—
その他	7	2
営業外費用合計	51	2
経常利益	6,693	8,755
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	12	14
特別損失合計	12	14
税金等調整前四半期純利益	6,681	8,741
法人税、住民税及び事業税	2,361	3,130
法人税等調整額	150	△54
法人税等合計	2,511	3,076
少数株主損益調整前四半期純利益	4,169	5,665
少数株主利益	3	—
四半期純利益	4,166	5,665



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,169	5,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	309	66
繰延ヘッジ損益	159	296
持分法適用会社に対する持分相当額	61	△29
その他の包括利益合計	530	333
四半期包括利益	4,700	5,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,696	5,999
少数株主に係る四半期包括利益	3	—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2.
	放送	テレマーケテ ィング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	51,638	2,034	53,672	—	53,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,646	2,646	△2,646	—
計	51,638	4,680	56,319	△2,646	53,672
セグメント利益	8,135	151	8,286	△3	8,283

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

当第3四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
放送	51,638	102.3
テレマーケティング	2,034	104.5
合計	53,672	102.3

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3. 放送セグメントには有料放送収入49,629百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報(参考)

① 個別経営成績(累計)・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	51,638	2.3	8,135	29.7	8,529	29.6	5,496	33.8
26年3月期第3四半期	50,495	0.3	6,270	44.2	6,578	43.2	4,108	44.1

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期第3四半期	55,197	34,388		
26年3月期	47,736	29,338		

(注) 個別経営成績(累計)・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 平成27年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,400	2.6	8,600	19.7	5,500	21.0	407.54

(注) 当四半期における業績予想の修正はありません。